

わが家の避難マップを作しましょう

どこへ、どのように避難するか、あらかじめ地域の避難場所などを確認しておくことが大切です。避難方法や避難場所、避難経路などを定めた「地域別の避難行動計画」を参考に、わが家の避難マップを作り、いざというときは速やかに避難できるよう準備しておきましょう。

Step1.津波ハザードマップで、避難ルートを確認しましょう

- ①津波ハザードマップで、自宅や勤め先の位置を確認しましょう。
- ②自宅や勤め先周辺で予測される被害の有無、程度を確認しましょう。
- ③目標となる避難場所を確認し、あなたの家から安全に避難できるルートを考えましょう。もしものときのために、避難ルートは複数考えておきましょう。



Step2.実際に避難ルートを歩いてみましょう

- ④家族で避難場所までのルートを歩いてみましょう。
- ⑤ルートの途中で危険な場所があればチェックし、安全で避難しやすいルートを調べ、所要時間を確認しましょう。



避難ルートのチェックポイント

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 家族や町内会での避難場所は？ | <input type="checkbox"/> 避難ルートの所要時間はどの程度か？ |
| <input type="checkbox"/> ブロック塀、電柱、樹木など倒れるおそれはないか？ | <input type="checkbox"/> その他、実際に歩いてみての問題点は？ |
| <input type="checkbox"/> 川や水路、がけなど危険な箇所はないか？ | |

Step3.わが家の避難マップを作しましょう

⑥作成例を参考に避難ルートを歩いて確認したら、結果を避難マップにまとめ、わが家の避難マップを作しましょう。

- 危険な場所には「×」、注意が必要な場所には「△」、避難の際に目印となる建物など、わかりやすくなるよう工夫しましょう。
- 安全な場所までの所要時間を記入しましょう。また、付せんなどでコメントをわかりやすくしましょう。



地域の避難場所や避難ルート、避難にかかる所要時間、危険な場所などを反映させた「わが家の避難マップ」を作ってみましょう。

わが家の避難マップ